

○小黒一正／愛宕伸康／末廣徹著

「日本経済 30の論点」

日本経済新聞出版 2022.10 242ページ
1,870円

本書では、日本経済が直面する30のテーマについて、経済を専門とする研究者、エコノミストが、深く解説している。「混迷」の時代に立ち向かうためには、様々な論点を整理し、今後の方向性について議論する「たたき台」を提供する必要があるのではないか、というのが本書執筆の動機・目的だったと著者は述べている。

著者は、法政大学経済学部教授（小黒）、いちよし証券上席執行役員チーフエコノミスト（愛宕）、大和証券エクイティ調査部チーフエコノミスト・CMA（末廣）。

◆主要目次 混迷する世界、その先を考える／新型コロナ対策によって、マネーはどうなった／日銀がマネタリーベースを増やして、何が起きたのか／異次元の金融緩和は、財政規律を弛緩させないか／結局、異次元緩和の成果とは、何だったのか／日銀に「出口」はあるのか ほか